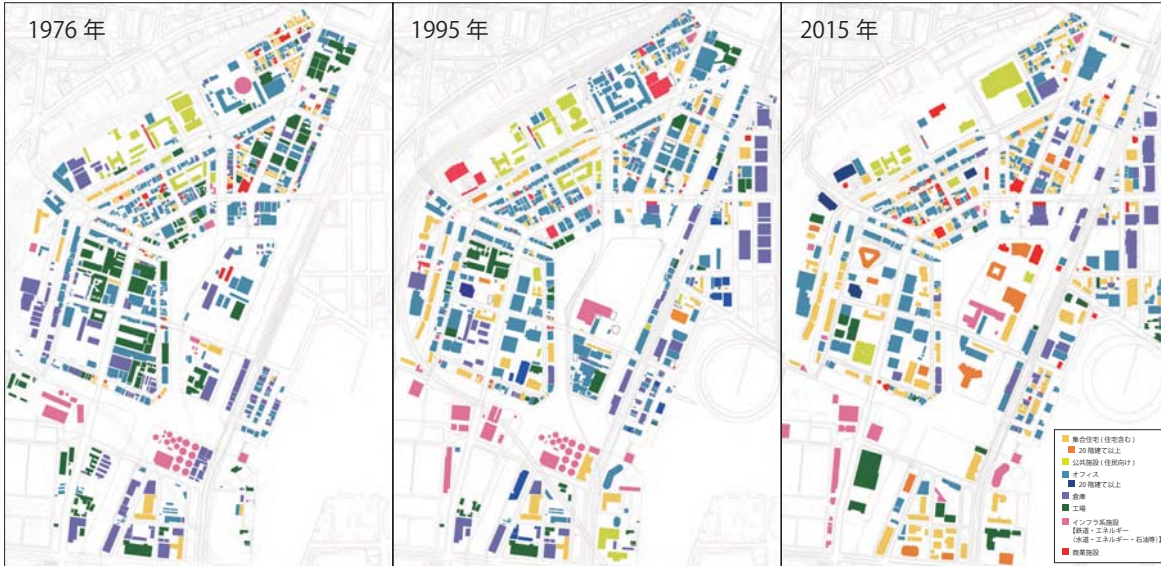
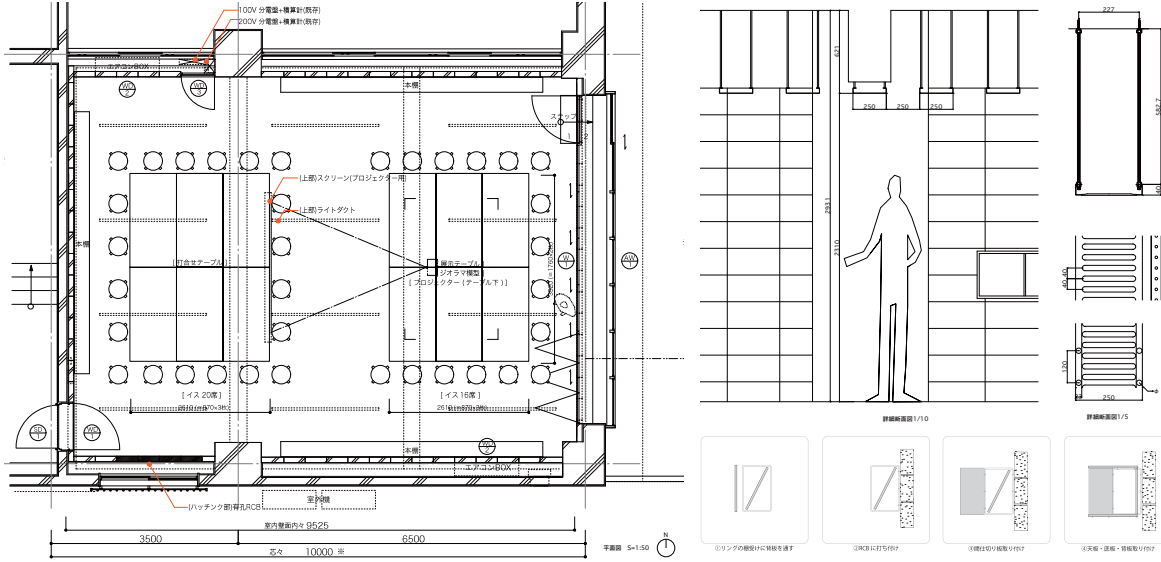


# 教育



西沢研究室を中心に芝浦の調査対象地域の利用状況・現状把握を行うため、経年変化で対象地域の情報収集を行い、どのように変化し現在の状況になっているのかを分析した。また、海外建築研修をはじめ、イタリア、フランス、ロシアにおける各国のまちづくりセンターの事例を現地で学生と共に体験・参照した。

# 研究



地元の企業・住民の議論の場となるまちづくりセンターの提案をおこなうため、内装の設計案を研究室内でコンペ形式により行った。また、芝浦地域の現地調査・ジオラマ模型（縮尺 1/600 で芝浦地域を再現）の作成を行い、地元に住む人が自分の街に興味を持てる様な表現の模索を行った。



# 社会貢献



年度初めに、地元企業・5名の若手建築家と共同で、建築会館の1回ギャラリーを借り、『MAKE ALTERNATIVE TOWN展』を開催。学生がリサーチした芝浦エリアの現状報告書や、対象エリアのジオラマ模型を展示するなど、住民に芝浦の良さを知ってもらおうと同時に、学生の活動をアピールすることができた。この活動を軸に、対象エリアの一角に住民・企業・建築家・学生といった様々な立場の人が集い、芝浦がより良いまちになる様、議論し合える空間となる『まちづくりセンター』を開設する。



引用資料  
 上：海外の港湾における親水状況（水域面積）『Google map 及び海外港湾局データより作成』 中：芝浦対象地域の用途変遷『センソリタ住宅地図 B4版東京都港区より作成』 下左：経年変化でみる芝浦の従業者数『総務省統計局 国勢調査「人工等基本集計」に関する集計」男女別人口及び世帯数一町丁・字等より作成』 下中：経年変化でみる芝浦エの人口『総務省統計局 経済センサス・基礎調査 町丁・大字別集計より作成』 下右：住民が使用する公共施設のプロット『国土地理院 IP 基礎地図情報より作成』